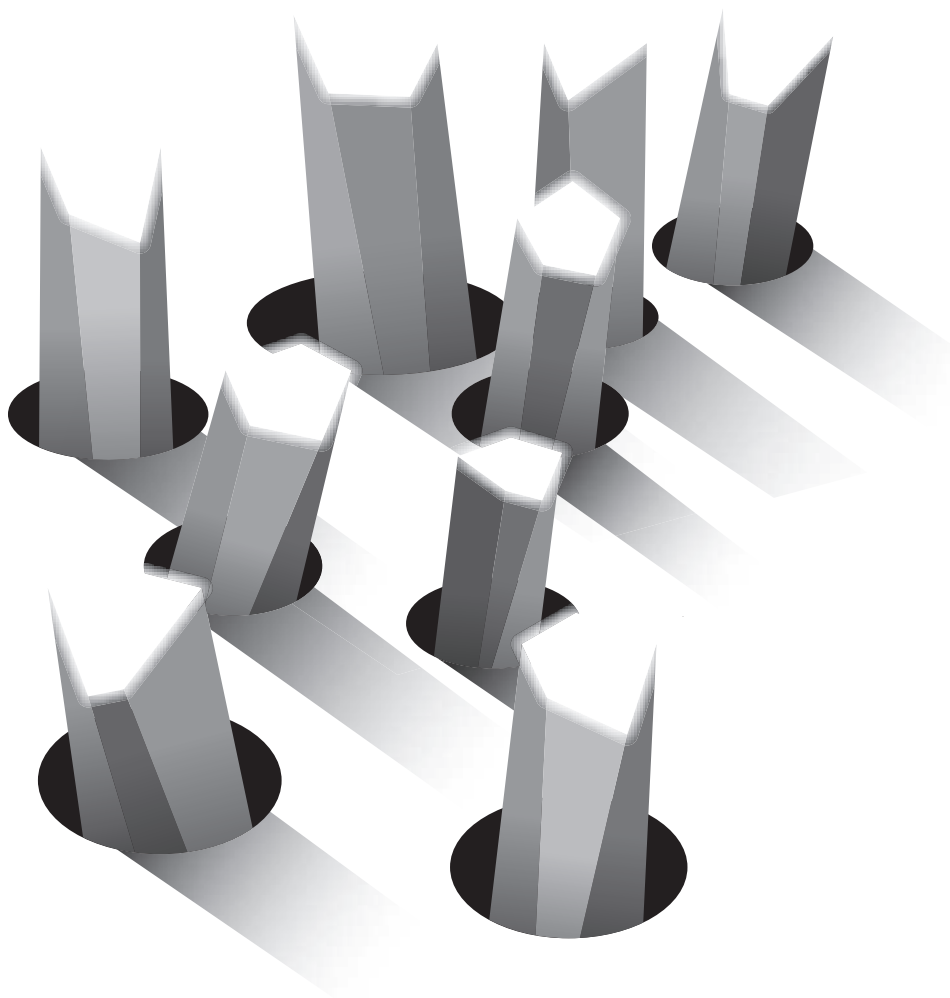


2024 年度

福井新聞模擬テスト

第3回

解答と解説



国語

今回の作文のポイント

(1) 資料A・Bから感じたことを書く。

(2) (1)と関連させて、福井県の魅力として広く伝えたいと考える項目を資料Bから一つ選び、選んだ理由を体験や見聞をもとに書く。

作文採点基準について

(採点基準は独自のものです。入試では各学校で採点基準を定めます。)

① 採点項目「満たした項目」ごとに加点

〔内容〕…二段落構成で書いている。(5点)／第一段落で資料A・Bから感じたことを書いている。(5点)／第二段落で福井県の魅力として広く伝えたいと考える項目

を資料Bから一つ選んで、選んだ理由を体験や見聞をもとに書いている。(5点)
② 減点項目「加点されている作文のうち、左記のものを減点」

〔内容〕…テーマから外れている。(15点減点)／論旨に一貫性がない。(2点減点)
〔表記〕…句読点の誤り・誤字・脱字等が一つ。(1点減点)二つ以上。(2点減点)
〔言葉の特徴やきまり〕…不適切な箇所が一つ。(1点減点)二つ以上。(2点減点)

③ 字数：二百字以上は減点なし。百九十九字～百二十一字は4点減点、百二十字、六十文字は8点減点、六十文字以下は15点減点。(ただし、最後の文末が未完成のもの

は1点減点、字数がはみ出しているものは、8点減点。)

※①で加点された合計から②と③の点数を引いた結果が今回の得点です。

段落の頭は一字空ける。必ず守る。――

福	井	県	の	魅	力	度	は	最	下	位	に	近	か	っ	た	二	〇	二
〇	年	か	ら	上	が	っ	て	は	い	る	が	、	ま	だ	四	十	位	台
近	い	状	態	だ	。	北	陸	新	幹	線	沿	線	の	四	県	で	羽	二
餅	が	す	ぐ	に	思	い	付	か	な	い	の	は	意	外	だ	っ	た	。
頃	な	価	格	で	魅	力	の	あ	る	み	や	げ	物	が	知	ら	れ	て
な	い	こ	と	が	、	資	料	A	の	要	因	の	一	つ	だ	と	感	じ
私	が	福	井	県	の	魅	力	と	し	て	広	く	伝	え	た	い	も	の
は	羽	二	重	餅	だ	。	先	日	、	友	人	か	ら	旅	行	の	お	み
げ	と	し	て	生	八	ツ	橋	を	も	ら	っ	た	。	箱	を	見	た	だ
で	京	都	に	行	っ	た	の	だ	と	わ	か	り	、	京	都	に	行	き
く	な	っ	た	。	み	や	げ	物	に	は	そ	の	県	を	強	く	印	象
け	る	力	が	あ	り	、	伝	え	る	意	義	が	あ	る	は	ず	だ	。

こつう場合、や。やは改行せず、行の末尾に入れる。

〈資料から感じたことを述べる〉

第一段落では、資料A・Bから感じたことを書く。右の作文では資料Aの順位が低い状態であることを述べている(①)。さらに資料Bから、アンケート調査を行ったのが北陸新幹線沿線であることを意識し、福井と聞いてすぐに羽二重餅が思い付かないことに対する意外さと、資料Aの要因だと感じたことを述べている(②・③)。複数の資料が提示されている場合、資料の全てに触れるべきかどうか指定を確認しよう。

〈選んだものとその理由を体験や見聞をもとに述べる〉

次に、第一段落の内容と関連させながら、福井県の魅力として伝えたいと考えるものを資料Bから選び、選んだ理由を体験や見聞をもとに書く。右の作文では、第一段落で触れた羽二重餅を選んだことを示し(④)、友人からおみやげをもらったときの体験を根拠として、「みやげ物にはその県を強く印象づける力があり、伝える意義がある」という、羽二重餅を伝えたい理由を示している(⑤～⑦)。

しいと評価している。同趣旨正解。

【訳】

一七七六年、日光御社参のときに、その道中で見た駄菓子に五荷棒というものがある。そのころあった駄菓子の達摩糖というものに似ていて、一口たりとも味わうようなものではない。三間梁の飴あめとよい対句になると思ったものだが、今年、ある友人のところから、秩父付近の菓子だとして、五荷棒というものを贈ってもらったのを見たところ、昔見たものよりは形が大きく、材質もまたおこし米で作っている。その形は品がないが、四十年の昔に比べると味わうべきものだ。

五 別ページの解答例参照。

同趣旨正解。

(七) **文章A**では、共感がビジネスシーンで「重要な力と見なされている」ことや、「よりよい人間関係をもたらす」ことを、共感がどのようなものかの説明や、重要視されるようになった経緯とともに述べている。一方、**文章B**では、無理に共感すると「ストレス」や「疲労感」、「苦しみ」につながることや、「共感しやすい」と、「自分自身が苦しくなり、強いストレスを抱えることになりやすい」ことなど、共感の負の面を指摘している。

三 (一) 弦が岸の動く指を見つめている様子を表す言葉なのだから、対象に視線が食い込むかのように、じつと見つめるさまを表す「食い入る」が合う。

(二) 女性は英理人の注文を受けた後、子どもの頃は習いたかったけれど自分にとって「ピアノはかなわぬ夢」であり、近くにあるのに「弾けない」し「触れない」と話している。そのような自分とは違い、岸は「弾けなくせに触って」いるので、「勇気がある」と感じられるから、興味深そうに見つめているのだ。同趣旨正解。

(三) 英理人は、岸の鳴らす「ポーンポーンが気に障り」、「ピアノから離れた窓際の席に座った」ものの、ピアノの音に対し、「柔らかく伸びがよく、それでいて、あとを引き過ぎない」ので「すばらしい」という印象をもった。そして、「古いピアノが今も良い音を保っている」ことから、調律師であった「弦の主人の技術と精神」が生き続けていると感じるようになっていて、ピアノに心が向いていることがわかる。そのようなときに、岸が「懸命に探している」「記憶にあるメロディ」が「わかった」ため、その旋律を弾くために「岸の隣に立った」のだ。bは同趣旨正解。

(四) このときの英理人は、ピアノに「一年ぶりに触れ」ている。女性から「ピアノ、弾ける？」と聞かれたことや、旋律を弾いたときに岸から「君は知っているのか？」と聞かれたりしていることから、英理人はピアノの実力どころか弾けるかどうかすら明かしていないことがわかる。徹底してピアノから距離をとってきたにもかかわらず、このときは「言われなくても弾かずにはいられない」という気持ちになっているのであり、与えられた機会を逃さずにピアノを弾こうと、気持ちが高ぶっているのだ。

「一年ぶりにピアノに触れた英理人は、指は自然と動くものの「前と同じようにはいかない」と感じている。「三日サボれば指はなまり……一日も欠かさず弾いていた頃のあの鋭さはない。正直、もたついている」という一年間の練習不足の影響を感じると同時に、「力仕事でついた余計な筋肉がなめらかな動きを邪魔する」ことにも気づいている。それでも、「無心になるのに」この一年が必要だった」と感じている。同趣旨正解。

(六) 英理人がピアノを弾く場面では、指が「軽快に踊る」、「指に吸い付くように鍵盤が重過ぎず軽過ぎずなめらかに戻る」、「ピアノも喜んでいる」など、ピアノを弾く喜びに満たされている英理人の気持ちだが、比喻や擬人法を用いた印象的な表現から伝わってくる文章となっている。

四 (一) 歴史的仮名遣いでは、語頭(単語の最初の音)以外の「はひふへほ」は「ワイウエオ」と発音し、発音どおりに表記する。「味はふべきもの」の「は」「ふ」は語頭ではないから「わ」「う」と発音・表記するので、「味わうべきもの」が正解。

(二) 漢詩を見ると、「秩父長伝五荷棒／大飴猶唱三間梁」と、「五荷棒」と「三間梁」が対句になっている。「五荷棒」と呼ばれる駄菓子を知り、「三間梁」とよい対句になると筆者は思ったのだ。

(三) 漢文では、二字以上返って読む場合には、一・二点を用いる。傍線2では「日光」を読んだ後に「満」を読むことになるので、「光」の左下に一点、「満」の左下に二点を付ける。

(四) ① 漢詩の一・二行目では、「達摩糖」が日光に満ちていたと表現していて、三行目で、「五荷棒」が秩父に長く伝わっていると表現している。② 秩父の菓子として贈られた五荷棒の特徴は、古文の最後の部分から読み取れる。日光で見たものより形が「大にして」、また、「おこし米」でつくられている。「形は野副」だが、「むかしにくらぶれば味はふべし」と、日光のものよりおい

国語

【解答】(一)問(一)・二・三問(一)・四問(一)(三) 2点×13

一問(二)・四・三問(三) a 四問(二)(四)① 3点×8

一問(六)(七)・三問(二)(三) b 六・四問(四)② 4点×6

三問(五) 5点 一問(五) 6点 五 15点

一 問(一) エ (二) 相手の望むこと、心配なことを察知し、適切な対応を

取る(力) (三) イ (四) ア (五) 価値観が多様化して他者に認め

られるための判断基準が見えないために承認不安が蔓延すること、産

業構造の変化にともなうコミュニケーション重視が重なったから。(例)

(六) 共感すること自体に苦しみがともなう例。(例)

(七) エ

二 問(一)① くも(る) ② あざ(やかな) ③ きよひ

④ しゃくめい ⑤ 逆(らう) ⑥ 率(いて) ⑦ 規則

⑧ 收拾 (二) イ

三 問(一) イ (二) 弾けないくせにピアノに触っていて勇気がある。(例)

(三) a 弦のご主人の技術と精神 b 岸の探しているメロディがわ

かった(例) (四) エ (五) 指に鋭さがなくなり、力仕事で余計な筋

肉がついたが、無心になることができた。(例) (六) ウ

四 問(一) 味わうべきもの (二) エ (三) 安永道中 満日光

(四) ① a 達摩糖 b 五荷棒 ② 大きく、形は品がないが、

おこし米を使っておいしい(例)

五 別ページの解答例参照

【解説】

一 (一) エ「大きな」は、活用せずに体言を修飾する連体詞。ア「すでに」、イ「もつと」、ウ「きわめて」は、活用せずに用言を修飾する副詞。

(二) 傍線1を含む段落の次の段落では、「共感の必要性や共感力の磨き方について述べた書籍」の具体例を挙げている。さらに続く段落で、「共感には相手の望むこと、心配なことを察知し、適切な対応をとることができる」と、述べている。同じ段落中では、「共感力」が発揮された場合にどうなるか、効果について具体例で示している。

(三) ここでの「柱」は、全体を支えるもの、中心となるものという意味。「軸」にも、何かを行う際の中心という意味がある。

(四) 「利他的」とは、自分を犠牲にして他人の幸福や利益のために尽くす様子。

【文章A】でも、相手の苦しみに共感し、相手が「楽になるよう具体的に行動し、手助け」することを「利他的な行為」として述べている。足を骨折したお年寄りのために買い物などを手伝うことは、自分の時間を犠牲にすることになり

「利他的な行為」に該当するのでアが正解。エは、負けたチームに共感したために「温かい拍手」を送っているのだが、具体的な手助けをしているわけではない。

(五) 直後に、「社会全体に蔓延する承認不安」に原因があり、「産業構造の変化にともなうコミュニケーション重視と重なった」とある。前者は、前の部分で述べていた、「価値観が多様化し」たことで「他者に認められるための判断基準が見えない」ことによる不安のことである。後者の「産業構造の変化」とは、「第三次産業が発展し、コミュニケーションが重視される仕事が増えた」とことだ。同趣旨正解。

(六) 共感力によって「相手に合わせられるため、その関係から脱け出せず、苦しむことにもなりやすい」と指摘したうえで、「共感すること自体に苦しみがともなうことも少なくない」と筆者は述べている。それについて、傍線5のように述べ、「自分も恥ずかしくなったり、いたたまれない思いをしたこと」「自らも悲しくて涙が止まらず、どうしようもなく苦しくなった経験」「自分自身が不安になって落ち着かない、ハラハラした気分を襲われたこと」などの、共感したことによって陥りがちな状態の例を示していくという流れになっている。

■ 英 語 ■

【解答】 (配点: 2 16点 4問(4) 6点 1問(2)1・3問(1)(8)・4問(2) 2点×9 他 3点×20)

- 1 問(1) 1 イ 2 ア (2) 1 ア 2 エ
(3) 1 ウ 2 ① エ ② オ ③ キ ④ ア
- 2 1 例) I think having the same food with our classmates is good. It's also nice to have local food or traditional food in school lunch. We can learn about Japanese culture through it. (32語)
2 例) We can put our favorite food in a box lunch. It's very good for us. But it's not easy for us to get up early to make lunch. (28語)
- 3 問(1) 1 to have[hold] a party 2 to go shopping with 3 make a cake and
(2) エ (3) ア (4) エ (5) ウ (6) イ (7) イエウア
(8) 1 例) agricultural chemicals used 2 例) domestic food is
- 4 問(1) 1 エ 2 ウ 3 イ (2) 1 Tuesday 2 sing 3 2
(3) 1 エ 2 ア 3 ウ
(4) 例) My dream is to be a doctor. I have had the dream for three years. Now, I study a lot every day to realize my dream. (3文)

【解 説】

- 1 問(1) 1 恵理の最初の発言から、「浩二と恵理は、生徒全員に彼らの町にはしい新しい施設について尋ねるつもりです」という意味の文に。イのfacilitiesとtheyの間には、関係代名詞whichまたはthatが省略されている。
2 恵理の2番目の発言から、「最初、浩二と恵理は旅行者に関するプレゼンテーションをするつもりでした」という意味の文に。
(2) 1 恵理の最初の発言から、「Aは体育館」だとわかる。また、浩二の発言から「Bはコンサートホール」、「Cは映画館」だとわかる。
2 「もし私たちがそれ(=大きなコンサートホール)を持てば、有名な音楽家や歌手がそこでコンサートを開くかもしれません」という意味の文に。
(3) 1 ウ 本文最初の2行から。
2 ① (3)の本文第3段落から、opinionsを補って「いま私たちは多くの異なる人びとの意見を尋ねることについて考えています」という意味の文に。 ② (3)の本文第3段落のlocal people of all agesから、localを補って「さまざまな年齢の地元の人びと」に。 ③ ここまでの内容から、improveを補って、「…あなたたちはあなたたちの町を改善するもっと多くの意見を持つでしょう」という意味の文に。 ④ 前後の内容から、easyを補って「私は、私たちの町は住みやすいと思います」という意味の文に。
- 2 今回の課題は、1には「給食についてどう思うかを書く」、2には「学校に弁当を持っていくことについてどう思うかを書く」というもの。文と文のつながりを意識して1文ずつついでに書くこと。日頃から、1つの課題に対して深く考え、自分の意見を書く練習をしよう。
- 3 問(1) 1 本文第1段落の内容から、「私は明日、家で友だちとパーティーをするつもりだ」という意味の文に。
2 本文第1・第2段落の内容から、「最初に、私は彼らと買い物に行き、いくつかの種類のフルーツを買わなければ

- ならない」という意味の文に。 3 本文第1段落の内容から、「私たちはケーキを作って、それをそのフルーツで飾るつもりだ」という意味の文に。
- (2) 「^{なみ}奈美の母親はお金についていつ奈美に尋ねましたか」に答える。本文第4段落から、「テーブルの上のたくさんの食べ物を見たとき、彼女は奈美にそれについて尋ねました」。
- (3) 本文第4段落から、「奈美は母親に、新しいスーパーマーケットでは低価格で輸入された食べ物を買うことができると話しました」という意味の文に。
- (4) 本文第5段落から、「世界中からのたくさんの種類の食べ物を食べることはとてもおもしろいと奈美は思いました」という意味の文に。
- (5) 本文第6段落から、「奈美は、人びとが外国から食べ物を運ぶためにたくさんのエネルギーを使っていること、そしてこのことが環境に影響しているということを知りました」という意味の文に。
- (6) shared my new knowledgeを補って「…私は母と、私の新しい知識を共有しました」という意味の文に。
- (7) アは「お母さんは正しい。私たちは日本の農業従事者をサポートすべきだ」という意味だから、本文第7段落の内容。イは「お母さんが私たちを手伝ってくれるだろうから、私はうれしい」という意味だから、本文第1段落の内容。ウは「私は、どうしてお母さんが輸入された食べ物よりも国内産の食べ物を多く買うのかわからない」という意味だから、本文第5段落の内容。エは「私は、新しいスーパーマーケットがたくさんの種類の輸入された食べ物を売っていることに驚いている」という意味だから、本文第3段落の内容。従って、イエウアの順。
- (8) 1 本文第6段落から、「…僕も輸入された食べ物を育てるために使われる農薬について心配しています」という意味の文に。
2 本文第6段落から、「僕は、国内産の食べ物のほうが輸入された食べ物よりも安全だと思います…」という意味の文に。

4 解説台本参照(英文掲載)。

- 問(1) 1 質問は「メグのお気に入りの教科は何ですか」。
2 質問は「吹奏楽部について何が本当ですか」。
3 質問は「明日の午後の天気はどうでしょうか」。
- (2) 1 「パーティーがある」のは、「火曜日」。
2 「木曜日」は、「音楽のクラスで歌を歌う」。
3 「歌を歌ったあと」は、「午後2時に写真を撮る」。
- (3) 1 質問は「^{なおき}直樹はいつサッカーを始めましたか」。
2 質問は「何が直樹を積極的にしましたか」。
3 質問は「来週、サッカーチームは何をする予定ですか」。
- (4) 今回の課題は「あなたの夢は何ですか」というもの。自分自身について書くと書きやすい。これまでに習った英単語や表現を使って、無理のない英文を書くこと。

放送による問題および生徒に対する指示

これから放送によるテストを行います。問題用紙および解答用紙の4番を見なさい。

問題は、問(1)から問(4)まであります。放送中メモをとってもかまいません。

では、問(1)の問題から始めます。(――間3秒――)

今から対話をします。その内容をよく聞いて、対話のあとに読まれる質問の答えとして最も適当なものを、それぞれ問題用紙のアからエから一つ選んで、その記号を書きなさい。対話と質問は1回だけ読まれます。では始めます。

(――間3秒――)

1. Woman: Are you studying math, Jun?

Man: Yes, Meg. In my class, it's the most popular subject.

Woman: Oh, really? How about English and science?

Man: They are popular, too. Science is second in my class.

Woman: I like it the best.

(――間2秒――)

Question: What is Meg's favorite subject?

(――間8秒――)

2. Man: You are in the brass band, Miki. Can you tell me about it?

Woman: OK, Paul. There are fifteen members. We usually practice from 4 p.m. to 6 p.m. on Mondays, Wednesdays, and Fridays.

Man: I see. Do you often have concerts?

Woman: No. We have concerts only in May and December.

Man: I have never played the trumpet, but I want to play it. Can I do that?

Woman: Of course, you can.

(――間2秒――)

Question: What is true about the brass band?

(――間8秒――)

3. Man: Do you know how the weather will be tomorrow?

Woman: Yes, I heard it will be snowy in the morning.

Man: Snowy? I wanted a sunny day. I have plans for a picnic. Will it snow in the afternoon, too?

Woman: No, I heard it will be cloudy in the afternoon. Anyway, I don't think it will be a good day for a picnic.

Man: That's true. I will change my plans. But a snowy morning sounds interesting.

Woman: Yes, just stay safe with warm clothes.

Man: Thank you for the advice. I will.

(--間2秒--)

Question: How will the weather be tomorrow afternoon?

(--間8秒--)

以上で、問(1)の問題を終わります。次は、問(2)の問題です。(--間3秒--)

あなたは、英語の先生による説明を聞いています。その内容をよく聞いて、問題用紙のメモの1と2の空所にそれぞれ入る最も適当な1語を、3の空所に入る算用数字を書きなさい。英文は2回読まれます。では始めます。

(--間3秒--)

Hello, everyone. Next week, twenty students from New Zealand will come to this city, and eleven of them will visit our school. On Tuesday morning, we will have a party for the eleven students. In the afternoon, they will tell you about their country in English class. On Wednesday, they will visit some famous places in this city. On Thursday, they will learn how to sing a Japanese song. They will sing it with you in music class in the morning. After lunch, they will leave our school. Oh, one more thing. You will take pictures with them at 2 p.m. I hope you'll enjoy it.

(--間10秒--) 繰り返します。(英文を繰り返す。)(--間10秒--)

以上で、問(2)の問題を終わります。次は、問(3)の問題です。(――間3秒――)

中学生のあなたは、クラスメイトの直樹^{なおき}のスピーチを聞いています。その内容に合うように、スピーチのあとに読まれる3つの質問の答えとして最も適当なものを、それぞれ問題用紙のアからエから一つ選んで、その記号を書きなさい。英文と質問は2回読まれます。では始めます。(――間3秒――)

I like soccer very much. I have been playing it since I was eight years old. I'm a member of the school soccer team. Sometimes special coaches visit our team. Last week, a famous soccer player from the U.K. visited our team as a special coach. He told us about himself, and we enjoyed listening to his story. He used simple words, so we understood his English. He said, "I started playing soccer when I was six years old. I also played other sports such as tennis and basketball, but soccer was special for me. I practiced hard every day, and I became a good player." He played soccer with us, and we were excited. He gave us a lot of advice then. His words made me positive, and I decided to practice soccer harder. Next week, we are going to send him an e-mail in English.

(――間2秒――)

Question 1: When did Naoki start to play soccer?

(――間3秒――)

Question 2: What made Naoki positive?

(――間3秒――)

Question 3: What is the soccer team going to do next week?

(――間10秒――) 繰り返します。(英文と質問を繰り返す。)(――間10秒――)

以上で、問(3)の問題を終わります。次は、問(4)の問題です。(――間3秒――)

今から対話が流れます。留学生のロンの質問に対して、あなたならどのように答えますか。あなたが話す内容を3文程度の英語で書きなさい。英文は2回読まれます。では始めます。(――間3秒――)

Woman: Ron, I have a dream, and I have been thinking about it.

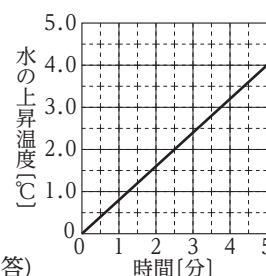
Man: Really? I want to listen to your story. What is your dream?

(――間3秒――) 繰り返します。(英文を繰り返す。)(――間3秒――) 以上で、放送によるテストを終わります。

■ 理 科 ■

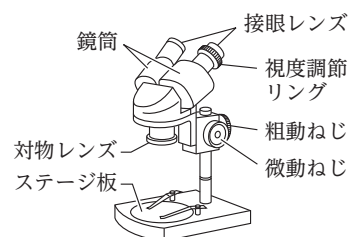
【解答】(配点：1(1)(4), 2(1)~(3), 3(1)(3)(5), 4(4)(5), 5(1)(3)(5),
6(4)(5), 7(3)(5), 8(1)(4)(5) 3点×20 他 2点×20)

- 1 (1) イ→エ→ア→ウ(完答) (2) 24本 (3) 胚
(4) 幼生はえらと皮膚で呼吸し、成体は肺と皮膚で呼吸する。(例) (5) エ
- 2 (1) 被子植物の花では**胚珠**が子房に包まれており、その子房が成長して**果実**になるから。(例)
(2) ア, ウ(順不問・完答) (3) エ (4) ア (5) イ
- 3 (1) ア (2) 1016 hPa (3) ウ (4) イ
(5) (前線をつくる)暖気と寒気の勢力がほぼ等しいため。(例)
- 4 (1) ウ (2) 天球 (3) イ (4) 12時05分 (5) エ
- 5 (1) イ (2) $\text{NaOH} \rightarrow \text{Na}^+ + \text{OH}^-$ (3) ウ (4) 7
(5) 水酸化ナトリウム水溶液を6.0 mL加えた。(例)
- 6 (1) イ, ウ(順不問・完答) (2) エ (3) 融点 (4) エ
(5) ろう…ア, 氷…ア, 理由…ろうも氷も, **密度**が液体の水より小さいから。(例)(完答)
- 7 (1) 電気エネルギー (2) 900 J (3) 右図参照 (4) 29.0℃ (5) イ, エ(順不問・完答)
- 8 (1) (直方体にはたらく)重力と浮力の**合力**の大きさ。(例) (2) 0 N (3) 5.9 N
(4) 1000 Pa (5) ウ



【解説】

- 1 (1) 右図のような双眼実体顕微鏡を用いると、観察物を拡大して、両目で立体的に観察することができる。顕微鏡は、直射日光の当たらない明るい場所で使う。
(2) 減数分裂によってつくられる生殖細胞(動物では卵と精子、植物では卵細胞と精細胞)がもつ染色体の数は、分裂前の半分になる。それらが受精してできた受精卵では、染色体の数は分裂前の細胞と同じになる。体細胞分裂では、細胞分裂の前後で染色体の数は変わらないため、図のどの段階であっても、体細胞1個当たりがもつ染色体の数は24本である。
(3) 受精卵が体細胞分裂によって胚になり、個体としてのからだのつくりが完成していく過程を、発生という。
(4) カエルは両生類の動物で、幼生(おたまじゃくし)はえらと皮膚で、成体は肺と皮膚で呼吸する。
(5) サツマイモやオランダイチョゴなどは、有性生殖も行うが、からだの一部から新しい個体をつくる栄養生殖でふえることもある。無セキツイ動物のイソギンチャクなどは、からだの一部が分かれる無性生殖によってふえる。
- 2 (1) 裸子植物の花には胚珠はあるが子房がないため、受粉しても、種子はできるが果実はできない。
(2) イ, エ, オは、「子葉が2枚である」「葉脈が網目状である」「根が主根と側根からなる」「茎の横断面に維管束が輪状に並ぶ」などの特徴をもつ双子葉類のなかま。アとウは、「子葉が1枚である」「おもな葉脈が平行である」「根がひげ根である」「茎の横断面に維管束が散在する」などの特徴をもつ単子葉類のなかま。
(3) 表で「種子をつくらない植物」であるコケ植物とシダ植物は、胞子をつくってなかまをふやす。コケ植物には雌株と雄株の区別があり、そのうちの雌株には、胞子の入った胞子のうとよばれるつくりがある。
(4), (5) コケ植物には、葉・茎・根の区別がない。図1で根のように見えるQは仮根とよばれる部分であり、コケ植物は、この部分でからだを地面などに固定する。仮根には、根のように水を効率的に吸収する役割はなく、実験の結果から、コケ植物はPの部分でもQの部分でも水を吸収していたことがわかる。
- 3 (1) 地表付近においては、高気圧の中心から時計回りにふき出した風が、低気圧の中心へ向かって反時計回りにふきこんでいる。図1で、右端にある高気圧からふき出した風が低気圧へふきこむとき、地点Aでの風向は南東となる。
(2) 等圧線は4 hPaごとに引かれ、20 hPaごとに太線となる。地点Bは、1020 hPaの太線から低気圧の中心へ向かって1本目の線上にあるため、 $1020 - 4 = 1016$ [hPa]
(3), (4) 図1の前線Pは寒冷前線であり、通過するときには、前線付近に発達した積乱雲によって激しいわか雨が降り、風向が南寄りから北寄りに変化する。また、前線通過後には地表が寒気におおわれるため、気温が急激に下がる。図2で、このような天気の変化が見られるのは18時ごろである。
(5) 前線Qは停滞前線とよばれ、寒気と暖気が同じくらいの勢いでぶつかり合っ**て**できる。初夏に停滞前線が長雨をもたらす時期をつゆといい、この時期に日本列島付近にできる停滞前線を、特に梅雨前線ばいうという。

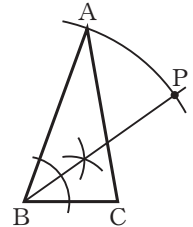


- 4 (1) 黒点は、太陽の活動が活発になると増加する。黒点の位置を観察すると、太陽の自転の様子がわかる。
- (2) 天体は地球から非常に遠いため、天球(自分を中心とした大きな球体の天井)に貼りついているように見える。
- (3) 図より、太陽が東から西へ向かって動くように見えたことがわかる。これは、地球が西から東へ向かって自転しているために起こる見かけの動きで、日周運動という。表1で、印の間隔が一定であったことから、地球はつねに一定の速さで自転していることがわかる。
- (4) 図で、太陽が真東から出て真西に沈んでいることから、この日は春分。表1で、印の間隔は1時間(60分)で2.4 cmなので、日の出の時刻から太陽の南中時刻までの時間を x 分とすると、 $60:2.4 = x:14.6$ $x = 365$ [分] よって、太陽が南中したのは、春分の日の出の時刻(6時00分)から 365分=6時間05分後の、12時05分。
- (5) 緯度が異なると、太陽の動き方はちがって見える。南半球の中緯度ではア、赤道直下ではウのように見える。
- 5 (1) 質量パーセント濃度が35%の塩酸24 gに溶けている溶質の質量は $24 \times 0.35 = 8.4$ [g] で、溶液を x g とすると、 $\frac{8.4}{x} \times 100 = 6$ [%] $x = 140$ g 必要である。したがって、加える水の量は $140 - 24 = 116$ [g] である。
- (2) 塩酸の溶質である塩化水素は、陽イオンの水素イオン(H^+)と、陰イオンの塩化物イオン(Cl^-)に電離する。
- (3) 水溶液Aが中性なので、塩酸と水酸化ナトリウム水溶液の体積比が1:2のとき中性になると考えられる。よって、Bはアルカリ性、CとEは酸性、Dは中性である。アルカリ性の水溶液をしみこませたひもを用いると、水酸化物イオンが陽極側に移動して赤色リトマス紙の陽極側が青色に変化し、酸性の水溶液をしみこませたひもを用いると、水素イオンが陰極側に移動して青色リトマス紙の陰極側が赤色に変化する。
- (4) 酸性やアルカリ性の強さはpHで表す。pHは7が中性で、7より小さいと酸性、7より大きいとアルカリ性。
- (5) 水溶液Dは中性。表より、12.0 mLの水溶液E中には、反応せずにあまった塩酸6.0 mLが残っていると考えられることから、6.0 mLの水溶液E中には塩酸3.0 mL分の水素イオンがあると考えられる。よって、それを中和して中性にするためには、塩酸との体積比が1:2になるよう、水酸化ナトリウム水溶液6.0 mLを加える。
- 6 (1) 砂糖やエタノールは有機物、食塩は無機物。二酸化炭素や炭素は、炭素をふくむが無機物である。
- (2) ガスバーナーの炎がオレンジ色であるときは空気量が不足しているため、空気調節ねじを少しずつ開く。
- (3) 物質が固体から液体に状態変化する温度を融点、液体が沸騰して気体に状態変化する温度を沸点という。純粋な物質では、物質ごとに融点や沸点が決まっており、たとえば水の場合は、融点が0℃、沸点が100℃である。
- (4) 状態変化では、物質の質量は変化しないが、物質をつくる粒子の運動の様子が変わるため粒子どうしの間隔が変化し、体積が変わる。ふつう、物質が液体から固体に状態変化すると、粒子の運動が穏やかになり、体積が減少する。また、液体から気体に状態変化すると、粒子の運動がさらに激しくなり、体積が飛躍的に増加する。
- (5) 固体のろうは体積110 cm³、質量100 gなので、密度は約0.9 g/cm³。水はろうなどの物質とは異なり、液体から固体になると質量が変わらずに体積が大きくなるため、氷の密度は液体の水の密度より小さい。固体の密度が液体の密度より小さいと固体は浮くことから、固体のろうも氷も、液体の水に浮く。
- 7 (1), (2) 5分間(300秒間)で電気エネルギーによって発生した熱量は、 $3 \times 300 = 900$ [J]
- (3) 表から、電熱線Qを入れた水の温度は、5分間で $21.0 - 17.0 = 4.0$ [℃] 上昇している。グラフが原点を通る直線になることから、水の上昇温度は電流を流した時間に比例するといえる。
- (4) 表で、電熱線PとQに同じ時間電流を流したときの水の上昇温度を比較すると、上昇温度は電熱線の消費電力に比例していると判断できる。電熱線Pでは5分後の水の上昇温度が2.0℃であることから、消費電力がPの6倍である電熱線Rの場合は、5分後の水の上昇温度は $2.0 \times 6 = 12.0$ [℃] 水温は $17.0 + 12.0 = 29.0$ [℃]
- (5) 電熱線Pの抵抗は $6 \div (3 \div 6) = 12$ [Ω] 電熱線Qの抵抗は $6 \div (6 \div 6) = 6$ [Ω] である。直列回路の場合、各電熱線に加わる電圧の大きさは抵抗の大きさに比例する。また、各電熱線に流れる電流は等しいので、直列回路において、電圧と電流の積である電力は、抵抗の大きい電熱線Pの方が大きいといえる。
- 8 (1) ばねばかりの値は、水中で物体にはたらく下向きの重力と上向きの浮力との合力を表す。
- (2) 浮力は物体の体積によって決まるため、形が同じである直方体AとBにはたらく浮力の大きさは等しい。
- (3) 表から、Xが1 cm長くなるとばねばかりの値は0.3 N小さくなるとわかるので、 $8.0 - 0.3 \times 7 = 5.9$ [N]
- (4) 直方体Bが完全に水中にあるときの浮力は、表より、 $6.0 - 3.0 = 3.0$ [N] 物体が完全に水中にあるとき、浮力の大きさはどの深さでも一定であることから、Xが12 cmのときも浮力はXが10 cmのときと同じ3.0 Nである。この3.0 Nは「物体の上面と下面にはたらく水圧の差」によって生じた力であり、図1より、直方体Aの上面・下面の面積は0.003 m²であることから、水圧の差は $3.0 \div 0.003 = 1000$ [Pa] である。
- (5) 図3と図4から、直方体AとCについて「体積が異なり、質量が等しい」ということがわかる。水中にある物体の体積が大きいほど大きな浮力がはたらくため、図5のように沈めると、直方体Cが浮いてAの側が下がる。ひもPをAの側にずらすと再びつり合うが、これを水から出すと、支点から力点までの距離が短いAの側が上がる。

■ 数 学 ■

【解 答】(配点：1(1)~(4)(6)ア, 2(1)(2), 3(1)アイ 3点×12 1(6)イ, 2(3), 3(2), 5(2) 4点×6
4 5点×4 1(5)(7) 6点×2 5(1) 8点)

- 1 (1) ア 13 イ $-x+2y$ ウ $3a-4b$ エ $2\sqrt{6}$ (2) $y=2x+3$ (3) $\begin{cases} x=1 \\ y=5 \end{cases}$
 (4) $MN=9$ (cm) (5) 解説参照 (部分点あり)
 (6) ア 中央値 15 点, 最頻値 13 点 (完答) イ 解説参照 (部分点あり)
 (7) 右の図 (例) (部分点あり)
- 2 (1) 4 通り (2) 6 通り (3) 31 通り
- 3 (1) ア 7 分 40 秒 イ 300 m (2) $a=1$
- 4 (1) $0 \leq y \leq 25$ (2) ア $y=-3x+18$ イ $a=\frac{3}{8}$ (3) $1+2\sqrt{2}$
- 5 (1) 解説参照 (部分点あり) (2) ア $DE:FE=8:5$ イ $CE=\frac{5}{2}$ (cm) ウ $AF=\frac{25}{16}$ (cm)



【解 説】

- 1 (1) ア $11-2^3 \div (-4) = 11-8 \div (-4) = 11-(-2) = 11+2 = 13$
 イ $4(2x-y) - 3(3x-2y) = 8x-4y-9x+6y = 8x-9x-4y+6y = -x+2y$
 ウ $(-12a^2b+16ab^2) \div (-4ab) = \frac{-12a^2b}{-4ab} + \frac{16ab^2}{-4ab} = 3a + (-4b) = 3a-4b$
 エ $\sqrt{54} + \sqrt{6} - \sqrt{24} = \sqrt{3^2 \times 6} + \sqrt{6} - \sqrt{2^2 \times 6} = 3\sqrt{6} + \sqrt{6} - 2\sqrt{6} = 2\sqrt{6}$
 (2) $4x-2y+6=0$ 移項すると, $-2y = -4x-6$ 両辺を -2 でわると, $y=2x+3$
 (3) $2x-y = -3 \cdots \text{①}$ $5x-3y = -10 \cdots \text{②}$ ①×3-②より, $x=1$ これを①に代入すると,
 $2 \times 1 - y = -3$ $-y = -5$ $y=5$
 (4) 頂点 A と頂点 C を結び, 線分 MN との交点を O とすると, $AD \parallel MN \parallel BC$ より,
 $MN = MO + ON = \frac{1}{2}BC + \frac{1}{2}AD = \frac{1}{2} \times 12 + \frac{1}{2} \times 6 = 6 + 3 = 9$ (cm)
 (5) b, c, d をそれぞれ a を用いた式で表すと, $b=a+2, c=a+4, d=a+6$ となる。
 よって, $cd-ab = (a+4)(a+6) - a(a+2) = a^2+10a+24 - a^2-2a = 8a+24 = 8(a+3)$
 $a+3$ は整数だから, $8(a+3)$ は 8 の倍数。したがって, $cd-ab$ の値は 8 の倍数になる。
 (6) ア 中央値は, 得点が小さい方から 4 番目の値だから 15 点。13 点だった生徒が 2 人いて, x, y, z がすべて異なる整数であることと, 最頻値が 1 つであることから, 最頻値は 13 点。
 イ 平均値が 15 点だから, $\frac{7+13+13+15+x+y+z}{7} = 15$ が成り立つ。これより, $48+x+y+z = 15 \times 7$
 $x+y+z = 57$ x, y, z は 16 以上 20 以下の異なる整数だから, これを満たす組は, $x=18, y=19, z=20$ のみ。
 (7) $70^\circ \div 2 = 35^\circ$ より, $\angle B$ の二等分線と, 中心 B, 半径 AB の円との交点が P となる。
- 2 (1) (6, 3), (5, 4), (4, 5), (3, 6) の 4 通り。
 (2) はじめの 2 回の目の数の和が 10 以上となる場合は, (6, 6), (6, 5), (6, 4), (5, 6), (5, 5), (4, 6) の 6 通り。この 6 通りそれぞれについて, 次の 3 回目で終了となる目の出方は 1 通りとなるから, 求める目の出方は 6 通り。

(3) (1), (2)より, はじめの2回の目の数の和が9以上となる場合は $4+6=10$ (通り)だから, はじめの2回の目の数の和が9未満となる場合は $6^2-10=26$ (通り) このうち, (1, 1)は $1+1+6=8$ より, 次の3回目で6の目が出たとしても⑨のマスに届かない。しかし, それ以外の場合は, 次の3回目で終了となる目の出方が, それぞれ1通りある。よって, 3回投げて終了となる場合のうち, 「左に戻る」ということが起こらない場合は $26-1=25$ (通り)ある。また, 「左に戻る」ということが起こる場合が(2)より6通りあるから, 求める目の出方は $25+6=31$ (通り)

3 (1) ア $2300 \div 5 = 460$ 460秒 = 7分40秒

イ ロープウェイは秒速5mだから, $5 \times 60 = 300$ より, 分速300m ふもとからP地点までの道のりを x mとすると, $\frac{x}{45} = \frac{2300-x}{300}$ が成り立つ。両辺に900をかけると, $20x = 3(2300-x)$ $20x = 6900 - 3x$
 $23x = 6900$ $x = 300$ よって, 300m

(2) (ロープウェイの速さ+歩く速さ) $\times 30 =$ (ロープウェイの速さ-歩く速さ) $\times 45$ が成り立つから,
 $30(5+a) = 45(5-a)$ 両辺を15でわると, $2(5+a) = 3(5-a)$ $10+2a = 15-3a$ $5a = 5$ $a = 1$

4 (1) $x=0$ のとき, y の値は最小となり $y=0$ $x=-5$ のとき, y の値は最大となり $y=(-5)^2=25$

(2) 点Pの y 座標は $y=3^2=9$

ア 点Rの x 座標と点Sの x 座標は等しいから, 点Rの x 座標は点Pの x 座標より1大きい。また, 点Rの y 座標と点Qの y 座標は等しいから, 点Rの y 座標は点Pの y 座標より3小さい。よって, 直線PRの傾きは, $\frac{-3}{1} = -3$ $y = -3x + b$ に $x=3, y=9$ を代入すると, $9 = -3 \times 3 + b$ $b = 18$ したがって, 直線PRの式は, $y = -3x + 18$

イ 点Rの x 座標は $3+1=4$ 点Rの y 座標は $9-3=6$ 点Rは②のグラフ上の点だから, $y = ax^2$ に $x=4, y=6$ を代入すると, $6 = 16a$ $a = \frac{3}{8}$

(3) 点Pの x 座標を t とすると, 点Pの y 座標は t^2 また, 点Rの x 座標は $t+1$, 点Rの y 座標は t^2-3 で, 点Rは②のグラフ上の点だから, $y = \frac{1}{2}x^2$ に $x=t+1, y=t^2-3$ を代入すると, $t^2-3 = \frac{1}{2}(t+1)^2$
 $t^2-3 = \frac{1}{2}(t^2+2t+1)$ $2t^2-6 = t^2+2t+1$ $t^2-2t-7=0$ 二次方程式の解の公式より,
 $t = \frac{-(-2) \pm \sqrt{(-2)^2 - 4 \times 1 \times (-7)}}{2 \times 1} = \frac{2 \pm \sqrt{32}}{2} = \frac{2 \pm 4\sqrt{2}}{2} = 1 \pm 2\sqrt{2}$ $t > 0$ より, $t = 1 + 2\sqrt{2}$

5 (1) $\triangle BDE$ と $\triangle CEF$ において,

$AB = AC$ より, $\angle DBE = \angle ECF$ ……①

仮定から, $\angle ACB = \angle FED$ ……②

三角形の内角と外角の関係から, $\angle ACB + \angle EFC = \angle FED + \angle DEB$ ……③

②, ③より, $\angle DEB = \angle EFC$ ……④

①, ④より, 2組の角がそれぞれ等しいから,

$\triangle BDE \sim \triangle CEF$

(2) $AC = AB = 5$ $\triangle ABC \sim \triangle FDE$ (2組の角がそれぞれ等しい)より, $AC : FE = BC : DE$ $5 : FE = 8 : DE$

$DE : FE = 8 : 5$ $\triangle BDE \sim \triangle CEF$ で, 相似比は, $DE : EF = 8 : 5$ $BD = 5 - 1 = 4$ $CE = \frac{5}{8}BD = \frac{5}{8} \times 4 = \frac{5}{2}$ (cm)

$BE = 8 - \frac{5}{2} = \frac{11}{2}$ $CF = \frac{5}{8}BE = \frac{5}{8} \times \frac{11}{2} = \frac{55}{16}$ $AF = 5 - \frac{55}{16} = \frac{25}{16}$ (cm)

■ 社 会 ■

【解答】(配点：2(4), 3(2)c(3)c, 5(4) 3点×4 他 2点×44)

- 1 (1) a 9月1日午後4時 b ①…E, ②…エ(完答) c エ (2) **大西洋**を流れる暖流とその上をふく偏西風の影響を受けるから。(例) (3) a ロッキー(山脈) b I…ア, II…ウ(完答) c ア
(4) 国土の周りを海洋に囲まれているため、国土面積に対する排他的経済水域の比率が大きい。(例)
- 2 (1) オ (2) a エ b I…エ, II…ア(完答) c B…エ, D…ア(完答)
(3) a 9(つ) b あ…ア, い…エ(完答) c その他の都道府県からの出荷量が少なく、平均価格が高い冬から春にかけて出荷量が多い。(例)
(4) 火力発電所は石油や液化天然ガスなどの燃料を輸入しやすい臨海部に多く立地していて、水力発電所はダムの水を利用しやすい山間部に多く立地している。(例)
- 3 (1) a イ b あ…班田収授法, い…租(完答) c 院政 (2) a イ b I…エ, II…ア(完答)
c 参勤交代の制度によって、大名行列の費用などに多くのお金が必要になったから。(例)
(3) a ア, エ(完答) b 大日本帝国(憲法) c **シベリア出兵**を見越して商人が米を買い占めたことで、**米価**が高騰したから。(例) (4) a ア b バブル経済
- 4 (1) a A 藩校 B 寺子屋 b 下関条約で清から多額の賠償金を得たこと。(例)
c 勤労の義務と納税の義務。(例) (2) a ア b エ c **念仏**を唱えて、**極楽浄土**に生まれ変わること。(例) (3) a エ b イ c レアメタル (4) 台風の暴風に備える(例)
- 5 (1) イ, ウ, エ(完答) (2) 非核三原則 (3) a イ b 経済活動の自由が、公共の福祉によって制限されている。(例) (4) 小選挙区制は、一つの選挙区から一人の議員を選出する制度で、**大政党**が議席を獲得しやすく、**死票**が多い。(例) (5) a ウ b 総辞職 (6) ウ, エ(完答) (7) 司法(権)
(8) (住民が)政治に直接参加して身近な問題に取り組み、民主主義を学ぶことができるから。(例)

【解説】

- 1 (1) a 資料1の経線は45度間隔で引かれており、Aは東経135度、Bは西経135度の経線を示している。A、B間には270度の経度差があり、経度差15度ごとに1時間の時差が生じるため、18時間の時差がある。また、Aの経線を含む東経の範囲の方が、Bの経線を含む西経の範囲よりも時間が先に進んでいる。 b Eには、国土面積が世界最小のパチカン市国が位置している。また、あは緯度0度の緯線である赤道にあたる。 c 冬の降水量が多いIには、温帯のうちの地中海性気候に属するQのサンフランシスコ、三つの都市の中で最も降水量が多いIIには、熱帯のうちのサバナ気候に属するRのコルカタ、三つの都市の中で降水量が最も少ないIIIには、乾燥帯に属するPのリヤドがあてはまる。
(2) ヨーロッパの大西洋や北海に面した地域は、冬の寒さがあまり厳しくない西岸海洋性気候である。
(3) a 北アメリカ大陸のロッキー山脈や南アメリカ大陸のアンデス山脈、日本やニュージーランドなどが環太平洋地域の変動帯に含まれる。 b Iはアのカナダ、IIはウのブラジルの説明。Iはメキシコ、Eはパラグアイ。 c Yのチリは、銅鉱の世界最大の産出国である。Iはコロンビア、ウはアメリカ合衆国、Eはアルゼンチンの主な輸出品とその割合を示している。
(4) ニュージーランドや日本など、国土を海洋に囲まれている海洋国(島国)は、国土面積に対する排他的経済水域の比率が大きくなる傾向にある。
- 2 (1) 比較的高価で軽量なものが上位にあるAは成田国際空港、原油が最上位を占めるBは千葉港、残るCは川崎港。
(2) a 琵琶湖は、滋賀県の総面積の約6分の1を占める。アのサロマ湖は北海道、イの霞ヶ浦は茨城県、ウの田沢湖は秋田県に位置している。 b Iはエの奈良県、IIはアの長野県の産業の様子である。Iの石川県を含む北陸地方では地場産業や伝統的工芸品の製造、ウの愛知県では自動車を含む輸送用機械器具の製造が盛んである。 c Aの新潟県はウ、Bの静岡県はエ、Cの兵庫県はイ、Dの和歌山県はアにそれぞれあてはまる。
(3) a 中国・四国地方には、岡山、広島、山口、鳥取、島根、徳島、香川、愛媛、高知の九つの県が位置している。 b 石油化学コンビナートが建設されるのは、原料や製品の輸送に便利で、広大な工業用地を埋め立てなどによって確保できる臨海部である。瀬戸内工業地域は、山口県、広島県、岡山県、香川県、愛媛県の瀬戸内海沿岸地域に広がっている。また、愛媛県は本州四国連絡橋の一つである尾道・今治ルート(瀬戸内しまなみ海道)によって、広島県と結ばれている。本州四国連絡橋にはこのほか、兵庫県と徳島県を結ぶ神戸・鳴門ルート(明石海峡大橋、大鳴門橋)、岡山県と香川県を結ぶ児島・坂出ルート(瀬戸大橋)がある。 c 高知県では、冬でも温暖な気候を利用して、なすやピーマンなどの野菜を、他の地域から多く出荷される夏ではなく、出荷量が少なく価格が高い冬から春に出荷する促成栽培が盛んに行われている。促成栽培とは逆に、冷涼な気候などを利用して、野菜などの生長を遅らせて出荷する抑制栽培は、長野県などで盛んに行われている。

- (4) 水力発電所は、山間部や河川が豊富な地域に多く分布している。日本では、長野県や岐阜県、福島県などの山岳地帯に多く見られ、地形を活かして発電が行われている。一方、火力発電所は、都市部や工業地帯に近い沿岸部に多く分布している。燃料の輸入が容易な港湾地域や、電力需要が高い大都市近郊に設置されており、東京湾や大阪湾周辺に多い。火力発電は日本の主要な電力供給源となっている。
- 3 (1) a I…聖徳太子(厩戸皇子)は、十七条の憲法のほか、冠位十二階の制度を制定し、有能な人物を役人にしようとした。II…小野妹子は、唐ではなく隋に派遣された。 b 口分田は、戸籍に登録された6歳以上のすべての男女に与えられ、死ぬと国に返された。また、労役の代わりに布を納める庸、特産物などを納める調は、都まで運ばなければならず、その負担は重かった。 c 白河天皇は、天皇の位を幼少の皇子にゆずり、自身は上皇として政治の実権をもつ院政をはじめた。上皇は自由な立場であったため、先例にとられない政治が行われた。
- (2) a アの土倉は高利貸しを営んだ。ウの間は物資の運送や保管などを行った。エの座は商工業者の同業者団体。 b I…1543年、ポルトガル人を乗せた船がエの種子島にたどり着き、鉄砲が日本に伝わった。II…織田信長は全国統一の拠点として、16世紀後半にアの安土に城を築いた。 c 参勤交代は、大名に対して、江戸と領地に1年おきに住むことを義務付けた制度で、江戸幕府3代将軍の徳川家光が武家諸法度に加えた。これにより大名は、江戸と領地を往復するときの大名行列にかかる費用や江戸に滞在する生活費などが必要となった。これらの費用は大名にとって重い負担となり、藩の財政が悪化していった。
- (3) a イ、ウはどちらも昭和時代の出来事。 b 大日本帝国憲法では天皇が主権者とされ、国民は法律の範囲内で居住・移転や信教の自由、言論・出版・集会・結社の自由などが認められた。 c 第一次世界大戦による好景気で物価が上昇し、さらにロシア革命への干渉戦争であるシベリア出兵を見こした米の買い占めで米価が高騰して米騒動が起こった。米騒動で寺内内閣が退陣し、原敬が本格的な政党内閣を組織した。
- (4) a 第二次世界大戦は、ドイツによるポーランド侵攻を機にはじまった。ソ連は、アメリカ、イギリスとともに結んだヤルタ協定に基づき、日本に宣戦布告した。 b バブル経済の崩壊以降、日本経済は平成不況とよばれる景気の後退・低迷期に突入した。
- 4 (1) a 藩校や寺子屋などの教育機関が整備されていたことにより、江戸時代末期以降、日本の識字率(文字や文章の読み書きができる人の割合)は世界最高水準にあった。 b 日清戦争の講和条約として下関条約が締結され、日本は清から2億両の賠償金を得た。そのうちの多くは軍事関連にあてられたが、一部は教育にあてられた。 c 日本国憲法では、子どもに普通教育を受けさせること、勤労、納税の三つを国民の義務と定めている。
- (2) a 兵馬俑は中国の秦の時代に造営された。 b エは古墳時代に造営された前方後円墳。アの縄文土器とイの土偶は縄文時代、ウの法隆寺は飛鳥時代に関連する資料。 c 平安時代末期に、阿弥陀如来を信じて念仏を唱えれば、死後に極楽浄土に行けるといふ浄土信仰が流行し、阿弥陀如来をまつる阿弥陀堂が必要となった。
- (3) a I…製造業や建設業は第二次産業に分類される。II…日本国内の貨物輸送の割合では、自動車が最も多い。 b フランスは原子力発電の割合が最も高くなっている。Pは火力発電、Qは水力発電。 c レアメタルはスマートフォンやパソコン、電気自動車などの製造に欠かせない素材として、重要な役割を果たしている。
- (4) 沖縄本島を含めて、沖縄県は初夏から秋にかけて、台風の通り道となることが多い。沖縄県の伝統的な住居の多くは、暴風による影響を軽減するため、家を石垣で囲い、屋根を低くしたり、しっくいなどで固めたりしている。
- 5 (1) 近年は、総世帯に占める核家族世帯の割合は減少傾向にある一方、単独世帯の割合が大きく増加している。
- (2) 平和主義については、日本国憲法第9条で、戦争を放棄し、戦力を持たず、交戦権を認めないと定められている。
- (3) a 国家賠償請求権は、裁判を受ける権利、刑事補償請求権などと同じく請求権に分類される。 b 日本国憲法には、「私有財産は、正当な補償の下に、これを公共のために用ひることができる。」とある。
- (4) 衆議院議員選挙に導入されている選挙制度である小選挙区制は、一つの選挙区から最も多くの票を獲得した1人だけが当選する制度で、一般に大政党に有利で、死票が多くなるという特徴がある。
- (5) a 政権をになう政党が与党で、それ以外の政党を野党という。公聴会は、委員会の審議において、関係者や学識経験者、利害関係者などから意見を聞くもの。予算や法律案の審議では、一部の国会議員で構成される委員会でも話し合われたあと、国会議員全員が参加する本会議で決議が行われる。 b 内閣は衆議院を解散した場合でも、総選挙後初めて国会が召集されたときに総辞職をする必要がある。
- (6) 衆議院議員の任期は4年、参議院議員の任期は6年と、衆議院は参議院に比べて任期が短く、解散制度もある。そのため、衆議院の方が民意をより反映しやすいと考えられており、法律案や予算の議決など、一部の事項について衆議院の優越が認められている。
- (7) 三権分立の考え方のもと、国会が立法権、内閣が行政権、裁判所が司法権を有している。また、それぞれが相互に監視し、権力を抑制しあうことで、権力の暴走を防ぎ、国民の権利を守ろうとしている。
- (8) 地方自治は、国の政治と比べて、人々の暮らしにとってより身近な民主主義の場である。住民には、地方議会の議員だけでなく、都道府県知事や市(区)町村長も直接選挙で選んだり、条例の制定・改廃や議会の解散などを請求する直接請求権が認められたりしているなど、地方自治では住民の意見がより反映されやすいため、「民主主義の学校」とよばれている。